

平成25年7月19日



# 研究だより

第36号

自治医科大学附属さいたま医療センター

## オープンラボをめざせるか、 さいたま医療センター循環器病臨床医学研究所の未来

副センター長、循環器病臨床医学研究所長 加計正文



さいたま医療センターに循環器病臨床医学研究所（以下研究所）が併設されていることを職員特に若い医師の皆さんはご存知だろうか。病院敷地から少し離れたところにあることもその認知度が低いことの一因かもしれないが、広報活動にあまり努力を払われていなかったことも要因の一つと思えます。また、本研究所がその機能を十分果たしていないという批判もあることも関係あるかもしれません。一方、そこには当センター職員の研究というものに対する意識がある一定のレベルに達していないという反省もあります。そもそも、研究という言葉の響きに関して、いまだに、距離感を抱いておられる方も多いと思います。これまで、「臨床と研究」というように両者は対極的な扱いをされてきましたが、本来ならば両者は非常に近い存在であるべきです。基礎研究は難しくて分かりにくいという批判と、臨床に結びつかない研究は意味がないとも言われてきました。それに対して研究の経験がない医師は深く洞察できないし臨床能力もあまり伸びないという反論もありました。しかし、「臨床と研究」はこのような並列の対立関係ではなく、本来は直列的な連続関係ではないかと私は思います。その手法に基礎的手法と臨床的手法（疫学的、観察的）があるにすぎません。最近の若い医師達のキャリアプランの動向に学位を取得することを必ずしも必須とは考えていないというデータが示されています。それは、研究というものに対するハードルが相対的に高くなっていることがその理由のように思えますし、専門医というライセンスへの早期取得をみんなが目指すことへの同調と、一方では専門医取得コースこそが人材確保の有効手段として各病院群や医系大学医局が考えていることが

マッチした結果に原因があるように思えてなりません。本研究所には臨床医学研究所という名称が付帯しているように、臨床医学を研究する場です。その部門には各診療部門の専門領域が含まれていて、多様な研究が可能となるように、組織上は工夫されていることを強調したいと思います。

自治医科大学ではここ2年続けて大学院入学者数が減少していることが大きな問題となっています。さいたま医療センターは総合医学第1、第2の2大講座からなるもので、それは他の医系大学には類を見ない特徴を備えており、その大講座制であるが故の各科間の垣根の低さというメリットを生かしながらこの研究所は発展を遂げてきた歴史があります。同一フロアで多くの、内科系、外科系の研究者が日々研究し、研究セミナーを行いながらそれぞれのコミュニケーションを通じてお互いの研究手法や技術の共有と伝達を行うことができました。ここに至るまでには、大学本部ならびに事務部門を始め、さいたま医療センターの先輩である教授・教官諸氏の努力の賜であります。それは本学に負けない研究レベルを望む意思と大宮でも学位取得ができるようにという高い識見を持って運営されてきたことによると思われます。昔は病棟の片隅で実験をされていたと聞いています。その情熱こそが本研究所の源流です。現在では最新の機器群が配備され、大学院生が毎日研究に励み、業績も年々増加し、活発な活動を支えています。

しかし、先に述べたように大学院生の入学者数の減少は切実です。当センターでは大学院生の入学者数は例年並みを保ってはいますが、今後の発展を考えると更なる増加が必要です。本研究所では基礎臨床を問わ

ずあらゆる可能性のある研究を目指す必要があります。また、共同研究を通して外部からの研究者を受け入れることも重要です。若い研究者には共同研究を通じて、データの公平な評価の仕方と研究立案の手法等を学んでほしいと思います。展望的には博士課程ばかりでなく修士課程も受け入れることを検討する必要があります。さいたま市という立地的に優れたところに位置する本研究所のメリットを最大限に生かすとすれば、自治医大本学に入學した大学院生も本研究所で研究できるようにし、必要に応じて他大学からの研究生も受け入れてのオープンラボ化を目指すべきではないかと私は思います。多くの研究者が混ざって研究できる環境を整えることができるとすれば、さいたま医療センターにおける臨床・研究部門の発展をさらに促

進でき、優秀な人材を集めることにも繋がると思います。研究は自由であり、発見と興奮がそこにはあり、ロマンです。

以上より今後は、大学院生の倍増による研究の活性化を通じて研究環境の改善を図る必要があります。シニアレジデントの皆さんは大学院入學をそのキャリアプランの一つとして考えていただきたいと思います。その結果として、キャリアアップへのチャンスに繋げることができる施設としての意義が本研究所にはあります。来年7月にはセンター南館傍に新築される管理研究棟（仮称）へと本研究所も移転予定です。これを契機に更なる発展を期すべく皆様方のご協力をお願いします。

## 研究の成果

### 総合医学 1

#### ■ 総合診療科

2012年分で未掲載分を含みます。

#### Original papers

- 1) Yamato K, Koda S, Yoshida M, Dezaki K, Yada T, Murayama T, Kawakami M and Kakei M Inhibition of insulin secretion from rat pancreatic islets by dexmedetomidine and medetomidine, two sedatives frequently used in clinical settings. *Endocr J* 60 : 337-46, 2013.
- 2) Kumazaki M, Ando H, Kakei M, Ushijima K, Taniguchi Y, Yoshida M, Yamato S, Washino S, Koshimizu TA and Fujimura A alpha-Lipoic acid protects against arsenic trioxide-induced acute QT prolongation in anesthetized guinea pigs. *Eur J Pharmacol* 705 : 1-10, 2013.
- 3) Iwasaki Y, Kakei M, Nakabayashi H, Ayush EA, Hirano-Kodaira M, Maejima Y and Yada T Pancreatic polypeptide and peptide YY3-36 induce Ca<sup>2+</sup> signaling in nodose ganglion neurons. *Neuropeptides* 47 : 19-23, 2013.
- 4) Nakajima K, Oshida H, Muneyuki T, Saito M, Hori Y, Fuchigami H, Kakei M and Munakata H Independent association between low serum amylase and non-alcoholic fatty liver disease in asymptomatic adults : a cross-sectional observational study. *BMJ Open* 3 : 2013.

#### 5) 加計正文

2型糖尿病合併高血圧患者を知ア症としてアバブロ上降圧非依存性イルベサルタンの尿中アルブミン排泄抑制作用 血圧 19 : 472-476. 2012

#### 学会発表

- 1) 出崎克也、Damdindorj Boldbaatar, 倉科智行、加計正文、矢田俊彦 : グレリンによるβ細胞cAMPシグナルを介したグルコース誘発インスリン分泌抑制 第55回日本糖尿病学会年次学術集会 2012年5月 横浜
- 2) Yoshida M, Kawakami M, Kakei M. : Nonselective cation channel activated by GLP-1 in pancreatic beta cells 9th IDF-WPR Congress & 4th AASD Scientific Meeting 25, Nov, 2012 Kyoto
- 3) 加計正文 : プライマリーケアにベストマッチしたインスリン治療 第6回日本病院総合診療医学会学術集会 ランチョンセミナー, 2013年3月、岐阜
- 4) Dezaki K, Kakei M, Yada T. : Ghrelin attenuates insulin release via Kv channel activation in islet β-cells. Organizer of symposium 「ion channels leading to functional alteration in pancreatic beta cell」 The 90th Annual Meeting of the Physiological Society of Japan 27th, March, 2013, Chiba
- 5) Imaizumi M, Yoshida M, Aoyagi K, Toyofuku Y, Watada H, Kakei M, Nagamatsu S. : 5-HT receptor 3a signaling regulates insulin release from pancreatic beta cells during pregnancy.

Organizer of symposium 「ion channels leading to functional alteration in pancreatic beta cell」  
The 90th Annual Meeting of the Physiological Society of Japan 27th, March, 2013, Chiba

#### 研究会他

- 1) 崔楚英, 藤原寛太郎, 池口徹, 加計正文: 膵 $\beta$ -細胞の発火パターンモデル 第29回バイオ情報学研究発表会 2012年6月28日
- 2) 加計正文: 特別講演2「糖尿病治療/療養指導はどの方向に進むか」第20回埼玉糖尿病教育セミナー 2012年7月7日
- 3) 吉田昌史, 加計正文: 膵 $\beta$ 細胞新規GLP-1メカニズムとしてのTRPm2チャンネル 分子糖尿病学シンポジウム 2012年12月8日 東京
- 4) Yoshida M, Kakei M.: Activation of non-selective cation channels by GLP-1 exposure sensitizes glucose-stimulated insulin secretion via membrane depolarization in pancreatic  $\beta$ -cells. Pancreatic  $\beta$ -cell ~ Mini-Symposium ~ Innovative approaches to understanding pancreatic  $\beta$ -cell function Date: January 28th, 2013 Otsu

#### ■ 循環器科

・平成25年4月～ 及び前回未掲載分

#### 【原著論文】

- 1) Naito, R., Ako, J., Wada, H., Ikeda, N., Sugawara, Y., Akaba, T., and Momomura, S.: Pulmonary hypertension in a patient with intravascular lymphomatosis. JC Case, 7 (2013), e181-183.
- 2) Arao, K., Ako, J., and Momomura, S.: Transient mid-ventricular ballooning: insights from (123)I-metaiodobenzylguanidine (MIBG) scintigraphy. Int J Cardiol. 2013; 164: e15-6.
- 3) 池田奈保子, 栗原明日香, 宇賀田裕介, 和田 浩, 菅原養厚, 阿古潤哉, 百村伸一: 慢性心不全患者の運動時周期性呼吸と中枢性睡眠時無呼吸の関連、短期予後への影響 心臓リハビリテーション (JJCR) 第18巻第2号.

#### 【著書・総説】

- 1) 和田 浩, 百村伸一: 「心筋症」 内科学第十版 朝倉書店.
- 2) 松田 淳, 和田 浩, 百村伸一: 「右心カテーテルの圧データの読み方」呼吸と循環 医学書院.
- 3) 伊部達郎, 和田 浩, 百村伸一: 「治療抵抗性心

不全とは」 Fluid Management Renaissance Vol.3 No 2 メディカルレビュー社.

#### 【学会発表】

- 1) 山本真吾, 和田 浩, 坂倉建一, 山田容子, 池田奈保子, 菅原養厚, 阿古潤哉, 百村伸一: 完全大血管転位症Senning術後に肺高血圧を合併した34歳男性 第15回日本成人先天性心疾患学会総会, 東京, 平成25年1月20日.
- 2) 吉田奈々絵, 山田容子, 平原大志, 和田 浩, 菅原養厚, 阿古潤哉, 百村伸一: 突然死の家族歴を有しshort-coupled variant of torsade de pointesと考えられた若年女性の一例 第227回日本循環器学会関東甲信越地方会, 東京ステーションコンファレンス, 2013年2月9日.
- 3) Sugawara, Y., Wada, H., Fujiwara, T., Arao, K., Sakakura, K., Ikeda, N., Funayama, H., Hirahara, T., Suga, C., Ako, J., and Momomura, S.: Long-Term Efficacy and Safety of Tolvaptan in Patients with Heart Failure The 77th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society (JCS2013), 横浜, 2013年3月15-17日.
- 4) Yamamoto, K., Wada, H., Sakakura, K., Ikeda, N., Katayama, T., Arao, K., Funayama, H., T., Sugawara, Y., Ako, J., and Momomura, S.: Cardiovascular and Bleeding Risk in Patients Who Undergo Non-cardiac Surgery with Antiplatelet Therapy. The 77<sup>th</sup> Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society (JCS2013), 横浜, 2013年3月16日.
- 5) Wada, H., Sakakura, K., Ikeda, N., Sugawara, Y., Ako, J., and Momomura, S.: A case of Bosentan therapy for severe pulmonary arterial hypertension. International Pulmonary Hypertension Forum 2013, Hamburg Germany, April 12-16, 2013.
- 6) Ikeda, N., Kuribara, A., Ugata, Y., Wada, H., Sugawara, Y., Ako, J., and Momomura, S.: Exercise oscillatory ventilation prognosticate early mortality and morbidity in chronic heart failure. EuroPrevent2013, ROME ITALY, 2013/4/18-4/20.
- 7) Yamamoto, K., Wada, H., Sakakura, K., Ikeda, N., Katayama, T., Arao, K., Funayama, H., Sugawara, Y., Ako, J., and Momomura, S.: Cardiovascular and Bleeding Risk in Patients Who Undergo Non-cardiac Surgery with Antiplatelet Therapy. Euro PCR 2013, Paris, France, May 19-25, 2013.

- 8) 松田 淳, 和田 浩, 阿古潤哉, 百村伸一: 剖検所見が得られた心アミロイドーシスの一例 第228回日本循環器学会関東甲信越地方会東京ステーションコンファレンス, 東京, 2013年6月12日.
- 9) 若林靖史, 和田 浩, 阿古潤哉, 百村伸一: 急性非代償性心不全における非侵襲的陽圧呼吸においてBiPAP / CPAPからASVへ移行不能な要因に関する検討 第17回日本適応医学会, さいたま, 2013年6月28日.

### 【研究会】

- 1) 荒尾憲司郎: 最近の循環器医療の現状 さいたま市大宮中央ロータリークラブ講演, さいたま, 2013年3月12日.
- 2) 百村伸一: 循環器疾患と睡眠呼吸障害 第8回南大阪睡眠呼吸障害研究会, 大阪, 2013年, 3月23日.
- 3) 津久井卓伯: 日常診療において興味深かった症例 第35回さいたま循環器談話会, さいたま, 2013年4月17日.
- 4) 船山 大: 糖尿病と虚血性心疾患 第2回糖尿病トータルマネジメントフォーラム, さいたま, 2013年4月18日.
- 5) Yamada, Y., Wada, H., Sakakura, K., Ikeda, N., Sugawara, Y., Aki, J., and Momomura, S. : Clinical features of patients treated with AldoAs in chronic heart failure. The 6<sup>th</sup> International Aldosterone Forum in Japan, Tokyo, April 21, 2013.
- 6) 和田 浩: 肺高血圧診療の実際 早期診断早期治療について~循環器医の立場から~ 深谷市・大里郡医師会学術講演会, 埼玉, 2013年4月24日.
- 7) 百村伸一: 心不全患者の心臓リハビリテーション 第4回信州の心臓リハビリテーションを考える会, 松本, 2013年5月11日.
- 8) 百村伸一: 心房細動患者における脳塞栓症予防を考える~J-ROCKET AF試験の結果から~ 猿島郡医師会学術講演会Medical Up To Date, 茨城, 2013年5月13日.
- 9) 松本充也, 和田 浩: 多職種協働により脳梗塞を合併した植込み型人工心臓患者が退院しえた一例 第1回心不全管理カンファレンス, 東京, 平成25年5月14日.
- 10) 藤原隆行: 高度な心肥大を呈した2症例 第6回埼玉県心不全症例検討会, さいたま, 2013年, 5月16日.
- 11) 阿古潤哉: 血管イメージングの現状と展望 循環器シンポジウム2013inSAITAMA, さいたま, 2012年5月16日.
- 12) 船山 大: 320例CTにおける冠動脈評価 第6回さいたま冠動脈CT研究会, さいたま, 2013年5月21日.
- 13) 阿古潤哉: 循環器医から見た心原性脳塞栓症予防エリキユース新発売記念講演会, さいたま, 2013年5月28日.
- 14) 阿古潤哉: 心血管イベントの抑制を考慮した糖尿病治療~循環器内科の立場から~ 生活習慣病学術講習会, さいたま, 2013年5月30日.
- 15) 三橋武司: 不整脈治療における降圧療法 埼玉県中央区ミカルデイス学術講演会, 上尾, 2013年, 6月14日.
- 16) 三橋武司: ICD.CRT-D最近の進歩 日本ICDの会第1回栃木県宇都宮講演会, 宇都宮, 2013年6月29日.

## ■ 消化器科

### ①学会、講演会、研究会への出席、発表の日程、概要 (2013年3月~5月)

- 1) 松本吏弘, 小林瑠美子, 石井剛弘, 大竹はるか, 吉川修平, 上原健志, 新藤雄司, 山中健一, 池田正俊, 東海浩一, 牛丸信也, 浅野岳晴, 高松徹, 岩城孝明, 福西昌徳, 鷺原規喜, 浅部伸一, 宮谷博幸, 吉田行雄: 潰瘍性大腸炎における増悪入院および手術に影響を与える因子は何か? 第85回日本消化器内視鏡学会総会 日本消化器内視鏡学会誌2013; 55: 1054 2013.5.10 京都
- 2) 大竹はるか, 中島嘉之, 浅見育弘, 福田重信: 当院におけるERCP後膵炎についての検討. 第85回日本消化器内視鏡学会総会 日本消化器内視鏡学会誌2013; 55: 1057 2013.5.12 京都
- 3) 腸閉塞症状を呈し大腸癌との鑑別を要した多発結腸憩室炎の1例. Progress of Digestive Endosc 2012; 82 (1): 97 第95回日本消化器内視鏡学会関東地方会2012.12.8 東京
- 4) 吉川修平: 腹痛を繰り返す小腸炎の1例. 第7回埼玉IBD症例勉強会2013.3.8 東京
- 5) 松本吏弘: 検証! アサコールの実力. アサコール錠発売3周年記念講演会2013.3.5 さいたま市
- 6) 松本吏弘: 離島における胃癌検診. 第2回埼玉消化器がん検診研究会2013.4.6 さいたま市
- 7) 宮谷博幸: 当センターにおけるH.pylori除菌療法の現状. 第1回浦和地区消化器勉強会 2013.5.31 さいたま市
- 8) 松本吏弘, 吉田行雄: 離島における胃がん検診の死亡率減少効果: 内視鏡検診とX線検診. 第52回

日本消化器がん検診学会総会 仙台 2013.6.7-8

- 9) 松本吏弘：平成21年～23年度における内視鏡検診発見胃癌についての分析. 平成25年度第1回胃癌内視鏡検診症例検討会 さいたま市 2013.6.27

#### [原著]

- 1) Matsumoto S and Yoshida Y : Efficacy of endoscopic screening in an isolated island : A case-control study. Indian Journal of Gastroenterology (in press)

### ■ 内分泌代謝科

平成25年4-6月の学会(日本内科学会総会、日本内分泌学会総会、日本腎臓学会総会、日本糖尿病学会総会、欧州腎臓学会)における発表を示します。

- 1) 浅野智子、山田穂高、吉田昌史、青木 厚、村田美保、生駒亜希、豊島秀男、加計正文、石川三衛：下垂体機能低下症患者における動脈硬化症の検討 第110回日本内科学会総会 2013年4月12-14日、東京都／日本内科学会雑誌 102 (Suppl.) : 214, 2013.
- 2) 青木 厚、村田美保、山田穂高、吉田昌史、浅野智子、生駒亜希、草鹿育代、加計正文、石川三衛：2型糖尿病患者の血管石灰化における骨関連因子の関与 第56回日本腎臓学会総会 2013年5月10-12日、東京都／日本腎臓学会誌 55 (3) : 407, 2013.
- 3) 青木 厚、村田美保、山田穂高、吉田昌史、浅野智子、生駒亜希、草鹿育代、豊島秀男、加計正文、石川三衛：2型糖尿病患者の頸動脈石灰化におけるosteoprotegerin (OPG) およびfibroblast growth factor (FGF) 23の役割 第86回 日本内分泌学会総会 2013年4月25-27日 仙台市／日本内分泌学会雑誌 89 (1) : 236, 2013.
- 4) 浅野智子、山田穂高、吉田昌史、青木 厚、生駒亜希、草鹿育代、加計正文、石川三衛：多彩な腫瘍進展を呈した当院で経験した先端巨大症の画像所見の検討 第86回 日本内分泌学会総会 2013年4月25-27日 仙台市／日本内分泌学会雑誌 89 (1) : 261, 2013.
- 5) 豊島秀男、横尾友隆、鈴木浩明、島野 仁、石川三衛、川上正舒、山田信博、岡崎康司：消化管ホルモンIBCAPによる膵β細胞分化増殖に与える影響 第86回 日本内分泌学会総会 2013年4月25-27日 仙台市／日本内分泌学会雑誌 89 (1) : 270, 2013.
- 6) 佐々木正美、石川三衛：腎機能低下例におけるシタグリプチンからビルダグリプチンへの切り替え例の検討 第86回 日本内分泌学会総会 2013年4月25-27日 仙台市／日本内分泌学会雑誌 89 (1) : 273, 2013.
- 7) 生駒亜希、山田穂高、吉田昌史、浅野智子、青木厚、佐々木正美、齊藤智之、草鹿育代、豊島秀男、加計正文、石川三衛：副腎静脈採血により局在診断に至らなかった原発性アルドステロン症の最終診断 第86回 日本内分泌学会総会 2013年4月25-27日 仙台市／日本内分泌学会雑誌 89 (1) : 282, 2013.
- 8) 間瀬卓顕、吉田昌史、山田穂高、浅野智子、青木厚、生駒亜希、草鹿育代、豊島秀男、川上正舒、加計正文、石川三衛：造影CTにて造影されず、局在診断に難渋した膵インスリノーマの1例 第86回 日本内分泌学会総会 2013年4月25-27日 仙台市／日本内分泌学会雑誌 89 (1) : 302, 2013.
- 9) 草鹿育代、山田穂高、吉田昌史、浅野智子、青木厚、生駒亜希、草鹿 元、石川眞実、田中裕一、豊島秀男、加計正文、石川三衛：当院でのプロラクチノーマに対するカベルゴリンの治療成績 第86回 日本内分泌学会総会 2013年4月25-27日 仙台市／日本内分泌学会雑誌 89 (1) : 322, 2013.
- 10) 明石直之、浅野智子、山田穂高、吉田昌史、青木厚、生駒亜希、草鹿育代、豊島秀男、加計正文、石川三衛：少量のカベルゴリンで著しいPRLの低下がみられた高齢者のプロラクチノーマの1例 第86回 日本内分泌学会総会 2013年4月25-27日 仙台市／日本内分泌学会雑誌 89 (1) : 322, 2013.
- 11) 齊藤智之、浅野智子、青木 厚、生駒亜希、豊島秀男、石川三衛：糖尿病合併高血圧患者に対する降圧利尿薬、ARB高用量投与の血圧、腎機能への影響 第86回 日本内分泌学会総会 2013年4月25-27日 仙台市／日本内分泌学会雑誌 89 (1) : 342, 2013.
- 12) 山田穂高、吉田昌史、浅野智子、青木 厚、生駒亜希、豊島秀男、加計正文、川上正舒、石川三衛：利尿薬配合降圧薬によると考えられた高齢者低Na血症の3例の検討 第86回 日本内分泌学会総会 2013年4月25-27日 仙台市／日本内分泌学会雑誌 89 (1) : 343, 2013.
- 13) 吉田昌史、大和志保、出崎克也、中田正範、山田穂高、石川三衛、矢田俊彦、川上正舒、加計正文：

- 膵β細胞における新規GLP-1メカニズムとしての Trpm2チャンネル 第56回日本糖尿病学会年次学術集会 2013年5月16-18日 熊本市／糖尿病 56 (Suppl.) : S113, 2013.
- 14) 三ツ橋美幸、大塚 潔、茂木さつき、浅野智子、生駒亜希、為本浩至、豊島秀男、河野幹彦、加計正文、石川三衛：カラー表示を用いた血糖自己測定器による糖尿病患者の血糖管理：行動変容と意識変化に関する追跡調査 第56回日本糖尿病学会年次学術集会 2013年5月16-18日 熊本市／糖尿病 56 (Suppl.) : S213, 2013.
- 15) 山田穂高、加計正文、吉田昌史、青木 厚、浅野智子、生駒亜希、草鹿育代、豊島秀男、川上正舒、石川三衛：インスリン分泌能の保持された1型糖尿病におけるCペプチドインデックスの臨床的意義 第56回日本糖尿病学会年次学術集会 2013年5月16-18日 熊本市／糖尿病 56 (Suppl.) : S216, 2013.
- 16) 草鹿育代、山田穂高、吉田昌史、浅野智子、青木厚、生駒亜希、豊島秀男、加計正文、石川三衛：糖尿病患者におけるHMGB-1と動脈硬化の関係 第56回日本糖尿病学会年次学術集会 2013年5月16-18日 熊本市／糖尿病 56 (Suppl.) : S232, 2013.
- 17) 大塚 潔、三ツ橋美幸、堀口久光、生駒亜希、為本浩至、豊島秀男、河野幹彦、加計正文、石川三衛：2型糖尿病に対する外来インスリン導入方法の検討 第56回日本糖尿病学会年次学術集会 2013年5月16-18日 熊本市／糖尿病 56 (Suppl.) : S391, 2013.
- 18) 中原 忍、浪川愛子、長嶺智重子、猪野瀬 渚、金内則子、椎名美知子、茂木さつき、生駒亜希、草鹿育代、豊島秀男、石川三衛：糖尿病教育入院における事前栄養指導効果の検討：第56回日本糖尿病学会年次学術集会 2013年5月16-18日 熊本市／糖尿病 56 (Suppl.) : S391, 2013.
- 19) 生駒亜希、山田穂高、吉田昌史、浅野智子、青木厚、草鹿育代、豊島秀男、加計正文、石川三衛：2型糖尿病患者における混合型インスリン製剤（ノボラピッド70ミックス注）の使用経験 第56回日本糖尿病学会年次学術集会 2013年5月16-18日 熊本市／糖尿病 56 (Suppl.) : S153, 2013.
- 20) 佐々木正美、関谷 栄、石川三衛：2型糖尿病患者におけるミチグリニドからレパグリニドへの切り替え症例の検討 第56回日本糖尿病学会年次学術集会 2013年5月16-18日 熊本市／糖尿病 56 (Suppl.) : S163, 2013.
- 21) 青木 厚、村田美保、山田穂高、吉田昌史、浅野智子、生駒亜希、草鹿育代、豊島秀男、加計正文、石川三衛：2型糖尿病患者における急性運動負荷による血清DPP4活性とインクレチンの反応性 第56回日本糖尿病学会年次学術集会 2013年5月16-18日 熊本市／糖尿病 56 (Suppl.) : S197, 2013.
- 22) 横尾友隆、渡邊和寿、飯田薫子、鈴木浩明、島野仁、菅原 泉、石川三衛、川上正舒、山田信博、岡崎康司、豊島秀男：新規消化管ホルモンIBCAPによる膵β細胞分化・増殖作用の解析 第56回日本糖尿病学会年次学術集会 2013年5月16-18日 熊本市／糖尿病 56 (Suppl.) : S198, 2013.
- 23) 金内則子、長嶺智重子、浪川愛子、猪野瀬 渚、茂木さつき、伊藤聖学、平井啓之、吉田 泉、生駒亜希、豊島秀男、石川三衛、田部井 薫：糖尿病性腎症の尿蛋白量に対する影響要因の検討 第56回日本糖尿病学会年次学術集会 2013年5月16-18日 熊本市／糖尿病 56 (Suppl.) : S309, 2013.
- 24) 浅野智子、山田穂高、吉田昌史、青木 厚、生駒亜希、草鹿育代、豊島秀男、加計正文、石川三衛：緩徐進行1型糖尿病44例の解析：診断の向上に向けて 第56回日本糖尿病学会年次学術集会 2013年5月16-18日 熊本市／糖尿病 56 (Suppl.) : S314, 2013.
- 25) Aoki A, Murata M, Ishikawa S : Association of serum osteoprotegerin with vascular calcification in patients with type 2 diabetes. 50<sup>th</sup> Congress of European Renal Association, May 18-21, 2013, Istanbul, Turkey.

## ■ 放射線科

学会・研究発表(2012年10月～2013年5月分)

### 国内学会

- 1) 濱本耕平：FDG-PET/CTが診断および治療効果判定に有用であった臍帯血造血幹細胞移植後リンパ増殖症の一例、第52回核医学会、口演、2012年11月、札幌
- 2) 大河内知久：乳房緑色腫のFDG-PET所見：2症例の検討、第52回核医学会、口演、2012年11月、札幌
- 3) 大河内知久：胸椎のみにFDG集積を来したSAPHO症候群の一例、第17回北関東クリニカルPET、口演、2012年11月、東京
- 4) 小野澤裕昌：胸椎のみにFDG集積を来したSAPHO症候群の一例、第442回日本医学放射線

学会関東地方会、ポスター、2012年12月、東京

- 5) 小野澤裕昌：1H-MRSで非特異的な所見を呈し、診断に苦慮した中枢神経病変合併血管内リンパ腫の一例、第32回画像医学会、ポスター、2013年2月、東京
- 6) 小林瑠美子：乳房緑色腫のFDG-PET所見：2症例の検討、第32回画像医学会、ポスター、2013年2月、東京
- 7) 藤森布美子：Bentall術後合併症の仮性瘤・肺動脈瘤診断にADCTが有用であった1例、第32回画像医学会、ポスター、2013年2月、東京
- 8) 大河内知久：乳房緑色腫のFDG-PET所見：3症例の検討、第873回放射線診療研究会、口演、2013年2月、東京
- 9) 藤森布美子：肺癌とサルコイドーシスを合併した1例、第874回放射線診療研究会、口演、2013年3月、東京
- 10) 濱本耕平：心臓血管外科術後の非閉塞性腸管虚血に対する経カテーテル的血管拡張薬持続動注療法の有用性に関する検討、第22回東京血管外科画像診断治療研究会、2013年3月、東京
- 11) 大河内知久：Endovascular stenting for obstructive malignant superior vena cava syndrome完全閉塞を来した悪性上大静脈症候群に対するステント留置術の検討、第72回日本医学放射線学会総会、Cypos、2013年4月、横浜
- 12) 濱本耕平：The study of optimal catheter selection for the embolotherapy of pulmonary arteriovenous fistula肺動脈静脈瘻コイル塞栓術時における至適カテーテル形状の選択に関する検討、第72回日本医学放射線学会総会、Cypos、2013年4月、横浜
- 13) 濱本耕平：非閉塞性腸管虚血に対する経カテーテル的血管拡張薬持続動注療法の有用性に関する検討、第42回日本IVR学会総会、口演、2013年5月、軽井沢
- 14) 大河内知久：臍頭十二指腸切除後の進行する食道静脈瘤に対して門脈ステント留置術を行った1例、第42回日本IVR学会総会、ポスター、2013年5月、軽井沢

#### 原著論文(2012年10月～2013年5月分)

- 1) 濱本耕平：透析患者の中心静脈狭窄に対する経皮的血管内ステント留置術の長期予後に関する検討、埼玉透析医学会誌、1巻2号、211-215、2012年11月

#### コメンテーター

- 1) 松浦克彦：第42回日本IVR学会総会、「IVR支援

機器」コメンテーター、2013年5月、軽井沢

## ■ 小児科

### 学会発表

- 1) 磯貝美穂子、丸山麻美、佐藤有子、市橋光：喉頭異物の1小児例。第151回日本小児科学会埼玉地方会、さいたま、2013年2月16日
- 2) 丸山麻美、佐藤有子、市橋光：糖尿病母体産児の心機能。第24回日本心エコー図学会学術集会、東京、2013年4月26日
- 3) 牧田英士、黒田早恵、佐藤有子、市橋光：一般用医薬品が原因と思われるStevens-Johnson症候群の1例。第152回日本小児科学会さいたま地方会、さいたま、2013年5月26日

### 著書・総説

- 1) 市橋光：心雑音。小児科学レクチャー 3, 166-170, 2013
- 2) 市橋光：ヘッドアップ・ティルト試験およびOD立位試験。小児内科、45, 1018-1020, 2013

### 研究会

- 1) 菅原大輔、市橋光、河野幹彦：埼玉臨床脂質研究会、さいたま、2013年4月6日
- 2) 市橋光：教育セッション；クイズで勉強しようーCHDの診断ー日本心エコー図学会、2013年4月27日

## ■ 臨床検査部

### ☆原著論文

- 1) 高嶋浩一、佐々木勝一、尾本きよか、河野幹彦：小脳橋角部腫瘍摘出術における顔面神経の同定、温存のための誘発筋電図、瞬目反射、運動誘発電位モニタリング。埼玉臨技会誌59(4)：221-226, 2013
- 2) 金澤真作、尾本きよか、中村卓、三塚幸夫、關義晃、桜井正児、関口隆三、位藤俊一、平井都始子、高田悦雄、宮本幸夫、奥野敏隆：ソナゾイドを用いた乳房造影超音波検査の現状に関するアンケート。乳腺甲状腺超音波医学2(1)：8-13, 2013

### ☆学会発表

- 1) 高嶋浩一、桐生ななえ、浅子瑞穂、間ヶ部悦子、佐々木勝一：眼電図による動眼神経(Ⅲ)、滑車神経(Ⅳ)、外転神経(Ⅵ)の術中マッピング。第62回日本医学検査学会、2013年5月18-19日、高

松市

- 2) 三ツ橋美幸, 大塚潔, 茂木さつき, 浅野智子, 生駒亜希, 為本浩至, 豊島秀男, 河野幹彦, 加計正文, 石川三衛: カラー表示を用いた血糖自己測定器による糖尿病患者の血糖管理, 行動変容と意識変化に関する追跡調査. 第56回日本糖尿病学会年次学術集会, 2013年5月16-18日, 熊本市
- 3) 大塚潔, 三ツ橋美幸, 堀口久光, 生駒亜希, 為本浩至, 豊島秀男, 河野幹彦, 加計正文, 石川三衛: 2型糖尿病患者に対する外来インスリン導入法の検討. 第56回日本糖尿病学会年次学術集会, 2013年5月16-18日, 熊本市

☆その他

- 1) 園山政行: 「染色体の基礎」. 関東甲信地区遺伝子染色体セミナー, 2013年2月24日, 東京都
- 2) 園山政行: 「染色体の基礎」スキルアップセミナー. 第62回医学検査学会, 2013年5月17日, 高松市
- 3) 尾本きよか: パネルディスカッション, ここが知りたい, 超音波の安全性: あなたは患者さんからの質問に答えられますか? テーマ『人間工学』. 日本超音波医学会 第85回学術集会, 2013年5月24日, 大阪市
- 4) 尾本きよか: パネルディスカッション, 百花繚乱! 乳房超音波検査用語 『形状と境界の表現, 腫瘍と非腫瘍について』 (日本医学放射線学会用語委員会の現状). 日本超音波医学会 第85回学術集会, 2013年5月25日, 大阪市
- 5) 尾本きよか: シンポジウム, ソナゾイド®による乳腺造影超音波検査の臨床応用『乳癌センチネルリンパ節同定における造影超音波の有用性』. 日本超音波医学会 第85回学術集会, 2013年5月26日, 大阪市
- 6) 尾本きよか: ランチョンセミナー2「乳房造影超音波検査の実践的活用法」. 日本超音波医学会 第86回学術集会, 2013年5月24日, 大阪市
- 7) 大木麻衣: 「知らなきゃ損!」～ 症例から学ぶ～甲状腺症例検討. 埼玉県臨床検査技師会細胞検査班生涯教育プログラム, 2013年5月26日, さいたま市

☆著書 総説

- 1) 河野幹彦: 検査診断学への展望: リポ蛋白代謝関連項目検査のデータ判読時のポイント. 第62回日本医学検査医学会記念誌編集委員会監修, 南江堂, 136-141, 2013
- 2) 櫻林郁之介, 河野幹彦, 田中 修, 山田俊幸, 尾

本きよか, 小谷和彦, 遠田栄一: 検査と適応疾患 (4版), 櫻林郁之介監修, (部分担当), 社会保険研究所. 2013

■ 救急部

A) 原著論文

- 1) 田村洋行, 岡島真里, 山岸利暢, 八坂剛一, 坪井謙, 藤原俊文: ワルファリン内服中の頭蓋内出血症例に対する第Ⅸ因子複合体投与の経験 自治医科大学紀要 2012, 35 71-75

B) 学会発表

- 1) 山岸利暢, 岡島真里, 田村洋行, 榎本真也, 中山祐介, 八坂剛一, 藤原俊文, 坪井 謙: 当院でのrt-PA投与例における慎重投与群の検討 第37回日本脳卒中学会総会 福岡 2012年4月27日
- 2) 田村洋行, 山岸利暢, 岡島真里, 榎本真也, 中山祐介, 八坂剛一, 藤原俊文, 坪井 謙: ワルファリン内服中の頭蓋内出血症例に対する第Ⅸ因子複合体投与の経験 第37回日本脳卒中学会総会 福岡 2012年4月28日
- 3) 八坂剛一, 岡島真里, 山岸利暢, 田村洋行, 榎本真也, 中山祐介, 藤原俊文: カフェイン中毒に合併した特発性縦隔気腫の1例 第15回日本臨床救急医学学会総会 熊本 2012年5月31日
- 4) 八坂剛一, 岡島真里, 山岸利暢, 田村洋行, 藤原俊文: 救急外来より入院した肺炎症例における血液培養検査の有用性 第40回日本救急学会総会 京都 2012年11月13日
- 5) 八坂剛一, 岡島真里, 山岸利暢, 田村洋行, 藤原俊文: 救急外来における敗血症症例の検討 第40回日本救急学会総会 京都 2012年11月14日



## 総合医学2

## ■ 一般・消化器外科

## 原著

- 1) Soda K, Kano Y, Chiba F, Koizumi K, Miyaki Y. : Increased Polyamine Intake Inhibits Age-associated Alteration in Global DNA Methylation and 1, 2-dimethylhydrazine-induced Tumorigenesis. PLoS ONE 8 (5) : e64357.

## 総説

- 1) 力山敏樹：胆道再建術（胆管消化管吻合術）. 術中写真で見る 胆・膵の外科手術 編集：望月泉 発行：浅原実朗 発行社：(株)メディカルビュー社, 2013.4.1 pp16-24
- 2) 早田邦康：食成分と健康長寿－レスベラトロールの研究結果を中心に－. New Food Industry. 55 (4) : 14-20, 2013

## 学会発表

- 1) 平松綾子、齋藤正昭、小櫃 保、石岡大輔、高田理、清崎浩一、力山敏樹：バリウムによる上部消化管造影検査後に生じた大腸穿孔の1例. 第828回外科集談会 2013.3.23 東京
- 2) 柿澤奈緒、野田弘志、渡部文昭、岡村 淳、加藤高晴、阿部 郁、力山敏樹：膵頭十二指腸切除術における動脈硬化の評価によるHigh Risk 症例の抽出. 第113回日本外科学会定期学術集会 2013.4.11-13 福岡 ポスターセッション
- 3) 阿部 郁、野田弘志、渡部文昭、岡村 淳、柿澤奈緒、加藤高晴、力山敏樹：ERCP後膵炎の膵頭十二指腸切除術後周術期治療成績への影響. 第113回日本外科学会定期学術集会 2013.4.11-13 福岡 ポスターセッション
- 4) 野田弘志、渡部文昭、岡村 淳、加藤高晴、柿澤奈緒、阿部 郁、力山敏樹：膵頭十二指腸切除術における膵空腸吻合の実際と治療成績. 第113回日本外科学会定期学術集会 2013.4.11-13 福岡 ビデオフォーラム
- 5) 齋藤正昭、清崎浩一、小櫃 保、千葉文博、高田理、力山敏樹：切除不能胃癌症例に対する導入化学療法後の手術介入の有効性. 第113回日本外科学会定期学術集会 2013.4.11-13 福岡 ポスターセッション
- 6) 武藤雄太、鈴木浩一、前田孝文、渡部文昭、加藤高晴、河村 裕、小西文雄、力山敏樹：Serrated pathwayにおけるAXIN2の異常メチル化. 第113

回日本外科学会定期学術集会 2013.4.11-13 福岡 ポスターセッション

- 7) 谷口 肇、野田弘志、渡部文昭、岡村 淳、加藤高晴、柿澤奈緒、阿部 郁、力山敏樹：機能性PNETの診断、手術治療成績の検討. 第113回日本外科学会定期学術集会 2013.4.11-13 福岡 ポスターセッション
- 8) 加藤高晴、鈴木浩一、神山英範、齋藤正昭、武藤雄太、小西文雄、力山敏樹：ゲノムワイドな脱メチル化によるsatellite alpha transcriptsの増加と大腸癌発癌についての検討. 第113回日本外科学会定期学術集会 2013.4.11-13 福岡 ポスターセッション
- 9) 清崎浩一、田巻佐和子、小櫃 保、齋藤正昭、千葉文博、高田 理、力山敏樹：食道癌に対する食道、気管ステントの効果. 第113回日本外科学会定期学術集会 2013.4.11-13 福岡 ポスターセッション
- 10) 市田晃佑、野田弘志、渡部文昭、谷口 肇、力山敏樹：大腸癌副腎転移に対して副腎摘出術を施行した2例. 第324回日本消化器病学会関東支部例会 2013.4.20 東京 口演
- 11) 野田弘志、渡部文昭、谷口 肇、力山敏樹：インスリンノーマ8例に対する診療経験の検討. 第25回日本内分泌外科学会 2013.5.23-24 山形 シンポジウム
- 12) Kawabata N, Soda K, Sato T, Mogi S, Kusano E : Factors associated with hospital malnutrition of patients with chronic kidney diseases. 8th Asia Pacific Conference on Clinical Nutrition 2013.6.9-12 東京
- 13) 阿部 郁、清崎浩一、齋藤正昭、千葉文博、高田理、力山敏樹：食道胃接合部における至適リンパ節郭清範囲と治療戦略. 第67回日本食道学会学術集会 2013.6.13-14 大阪 口演
- 14) 高田 理、清崎浩一、齋藤正昭、石岡大輔、千葉文博、小櫃 保、力山敏樹：当院で経験した食道小細胞癌の臨床病理学的特徴について. 第67回日本食道学会学術集会 2013.6.13-14 大阪 ポスター
- 15) 齋藤正昭、清崎浩一、小櫃 保、千葉文博、高田理、力山敏樹：再発・進行食道癌に対する2次治療としてのNedaplatin/Vindesine療法の検討. 第67回日本食道学会学術集会 2013.6.13-14 大阪 ポスター

## その他

- 1) 辻仲真康：安全かつ確実な計画的直腸切離を目標

- して、第6回埼玉腹腔鏡下大腸懇話会 2013.3.23  
さいたま 講演
- 2) 早田邦康：いつもの習慣をちょっと変えるだけ！  
達人に聞く「心を軽くするコツ11」【納豆を食べる】  
心と体を軽くする妙薬発見！ 1日1パックの納豆で細胞と遺伝子が若返る. ゆほびか6月号. 40-41, 2013. (株)マキノ出版. 2012.4.16発行 掲載
  - 3) 力山敏樹：術前・術後治療を含めた集学的治療.  
パープルリボン2013in埼玉 膝臓がんを光をあてる 2013.4.27 さいたま 講演
  - 4) 力山敏樹：第2回院内縫合結紮トレーニング  
2013.4.27 院内(BSL)主催
  - 5) 力山敏樹：大腸癌肝転移治療における化学療法の役割.  
大腸癌肝転移治療セミナー 2013.5.21 さいたま パネリスト
  - 6) 力山敏樹：第1回東北大式PDトレーニングコース  
2013.6.1 福島 講師
  - 7) 力山敏樹：第3回 自治医科大学さいたま医療センター院内ハンズオンセミナー 2013.6.8 院内主催

## ■ 呼吸器外科

### (論文)

- 1) Nakano T, Endo S, Kanai Y, Otani S, Tsubochi H, Yamamoto S, Tetsuka K. Surgical Outcomes after Superior Vena Cava Reconstruction with Expanded Polytetrafluoroethylene Grafts. *Ann Thorac Cardiovasc Surg.* (in press)

### (総説)

- 1) 金井義彦、中野智之、遠藤俊輔 上大静脈症候群別冊 医学の歩み 呼吸器疾患 Ver.6 p326-327 医歯薬出版 東京

### (学会発表)

- 1) 中野智之ほか：胸腔鏡下肺癌手術時の組織収納サック内洗浄細胞診の検討 第113回日本外科学会定期学術集会 4月12日(福岡)
- 2) 坪地宏嘉ほか：胸腔鏡下縦隔廓清とN2肺癌の切除成績 第14回胸骨正中経路による肺癌手術懇話会 4月20日(東京)
- 3) 中野智之ほか：術前CEA値が正常であった肺腺癌症例の 第30回日本呼吸器外科学会総会 5月9日(名古屋)
- 4) 眞木 充ほか：活動性間質性肺炎合併肺癌に対するサルベージ手術の一例 第30回日本呼吸器外

科学会総会 5月9日(名古屋)

- 5) 坪地宏嘉ほか：抗血小板剤または抗凝固剤投与中の心疾患合併肺癌症例に対する周術期管理 第30回日本呼吸器外科学会総会 5月10日(名古屋)
- 6) 坪地宏嘉ほか：胃全摘後に左胸膜肺全摘術を施行した悪性中皮腫の一例 第30回日本呼吸器外科学会総会 5月10日(名古屋)
- 7) 遠藤俊輔ほか：右上葉切除・上縦隔郭清後の中葉根部に再発した肺癌症例に対する追加右中葉切除術肺癌術 第30回日本呼吸器外科学会総会 5月10日(名古屋)
- 8) 遠藤俊輔ほか：心膜周囲脂肪織を用いた主肺動脈のIsolation—再手術を考えた処置— 第30回日本呼吸器外科学会総会 5月10日(名古屋)
- 9) Endo S: Repeat VATS middle lobectomy after right lower lobectomy 21<sup>st</sup> European Society for Thoracic Surgeon 5月28日(Birmingham, England)
- 10) 眞木 充ほか：残存肺全摘を行った左下葉肺癌術後左上葉再発の一例 第162回日本胸部外科学会関東甲信越地方会 6月1日(東京)
- 11) 中野智之ほか：多発性定型肺カルチノイドの1例 第167回日本肺癌学会関東支部会 6月8日(東京)
- 12) 草刈 翔ほか：気管支内腔進展の形態で再発した肺癌に対するサルベージ手術 第145回日本呼吸器内視鏡学会関東支部会 6月8日(東京)
- 13) 坪地宏嘉ほか：肺癌に対する気管・気管支再建術の成績 第36回日本呼吸器内視鏡学会学術集会 6月21日(大宮)

### (講演)

- 1) 遠藤俊輔：ランチョンセミナー 胸腔鏡下肺癌手術におけるEnergy Deviceの使用法～各術式での使用例からリンパ節郭清まで～ 第30回日本呼吸器外科学会総会 5月10日(名古屋)
- 2) 遠藤俊輔：ランチョンセミナー胸腔鏡手術手技における当院の工夫 第56回関西胸部外科学会総会 6月13日(広島)

## ■ 心臓血管外科

### ☆原著論文

- 1) 山口敦司, 安達晃一, 森田英幹, 田村 敦, 佐藤健一郎, 安達秀雄. 急性冠症候群に対する冠動脈バイパス術. *冠疾患誌* 2013; 19: p1-6
- 2) Yuri, K, Yokoi, Y, Yamaguchi, A, Hori, D, Adachi, K, and Adachi, H. Usefulness of fenestrated stent grafts for thoracic aortic aneurysms. *European*

- Journal of Cardio-Thoracic Surgery. 2013. p1-8
- 3) Merk, DR. Chin, JT. Dake, BA. Maegdefessel, L. Miller, MO. Kimura, N. Tsao, PS. Iosef, C. Berry, GJ. Mohr, FW. Spin, JM. Alvira, CM. Robbins, RC. And Fischbein, MP. miR-29b participates in early aneurysm development in Marfan syndrome. Circ Res. Vol.110, No.2 ; 2012 ; p312-324
  - 4) Kimura, N. Nakae, S. Itoh, S. Merk, DR. Wang, X. Gong, Y. Okamura, H. Chang, PA. Adachi, H. Robbins, RC. And Fischbein, MP. Potential role of  $\gamma\delta$  T cell-derived IL-17 in acute cardiac allograft rejection. Ann Thorac Surg. Vol.94, No.2 ; 2012 ; p542-548
- ☆学会発表
- 1) 西 智史, 由利康一, 小林祐介, 中野光規, 竹内太郎, 竹内紘子, 吉崎隆道, 野中崇央, 田島泰, 堀 大治郎, 長野博司, 田村 敦, 木村知恵里, 安達晃一, 松本春信, 山口敦司, 安達秀雄. TEVAR術後に腹部大動脈瘤破裂を来たした重複大動脈瘤の1例. 第161回日本胸部外科学会関東甲信越地方会要旨集 p7. 第161回日本胸部外科学会関東甲信越地方会 2013.3.9 メトロポリタン高崎
  - 2) 橋本和憲, 田中正史, 片山郁雄, 野口権一郎, 伊藤 智, 嶋田直洋, 湯地大輔, 大城規和, 白水御代. 巨大甲状腺腫瘍摘出と僧帽弁置換術を1期的に施行した一例. 第161回日本胸部外科学会関東甲信越地方会要旨集 p11. 第161回日本胸部外科学会関東甲信越地方会 2013.3.9 メトロポリタン高崎
  - 3) 吉沢あゆは, 安達晃一, 田村 敦, 田島 泰, 木村知恵里, 野中崇央, 由利康一, 松本春信, 山口敦司, 安達秀雄. 左鎖骨下動脈閉塞に対しPTA施行中動脈損傷し、止血術後に発症したNOMIの一例. 第161回日本胸部外科学会関東甲信越地方会要旨集 p32. 第161回日本胸部外科学会関東甲信越地方会 2013.3.9 メトロポリタン高崎
  - 4) 小林祐介, 松本春信, 西 智史, 進士弥央, 中野光規, 竹内太郎, 竹内紘子, 吉崎隆道, 田島 泰, 野中崇央, 堀 大治郎, 田村 敦, 長野博司, 由利康一, 安達晃一, 山口敦司, 安達秀雄. 外傷性右膝窩仮性動脈瘤自家静脈置換術後にグラフト仮性動脈瘤を生じたバイパス術を施行した1例. 第29回埼玉血管外科懇話会 2013.3.22 ソニックシティ大宮
  - 5) Yuri, K. Hori, D. Yokoi, Y. Adachi, K. Kimura, N. Matsumoto, H. Yamaguchi, A. and Adachi, H. Usefulness of Fenestrated Stent Graft for type B aortic dissections. T The 21<sup>st</sup> Annual Meeting of the Asian Society for Cardiovascular and Thoracic Surgery 2013 Abstracts p73. The 21st Annual Meeting of the Asian Society for Cardiovascular and Thoracic Surgery 2013 April 4-7, 2013
  - 6) 木村直行, 伊藤 智, 田中正史, 川人宏次, 田村敦, 木村知恵里, 森田英幹, 由利康一, 松本春信, 安達晃一, 山口敦司, 安達秀雄. 急性A型大動脈解離の予後予測検査として術後早期造影CTの有用性. 日本外科学会雑誌 第114巻 臨時増刊号(2) P255. 第113回日本外科学会定期学術集会 2013.4.11-13 福岡国際会議場
  - 7) 由利康一, 安達晃一, 木村直行, 山口敦司, 安達秀雄. TEVAR時の脊髄虚血症例の検討. 第21回日本大動脈外科研究会 抄録集 p17. 第21回日本大動脈外科研究会 2013.4.11 福岡国際会議場
  - 8) 田島 泰, 由利康一, 中野光規, 竹内太郎, 西智史, 堀 大治郎, 田村 敦, 松本春信, 安達晃一, 山口敦司, 安達秀雄. 急性大動脈解離術後、腸管虚血を併発し、SMA stent およびTEVARを施行した1例. 第156回血管外科症例検討会 2013.4.20 東京医科大学
  - 9) 山口敦司, 安達晃一, 松本春信, 由利康一, 木村知恵里, 長野博司, 田村 敦, 堀 大治郎, 野中崇央, 田島 泰, 吉崎隆道, 西 智史, 中野光規, 安達秀雄. 冠動脈バイパス手術の適応とされた腹部大動脈瘤の手術戦略と治療成績. 第41回日本血管外科学会学術総会 2013.5.29-31 大阪国際会議場
  - 10) 松本春信, 中野光規, 吉崎隆道, 西 智史, 野中崇央, 佐藤哲也, 堀 大治郎, 田村 敦, 木村知恵里, 由利康一, 安達晃一, 山口敦司, 安達秀雄. 当院における下肢動脈閉塞症に対する血行再建-CLIに対する血行再建の取り組みと課題-. 第41回日本血管外科学会学術総会 2013.5.29-31 大阪国際会議場
  - 11) 由利康一, 堀 大治郎, 長野博司, 安達晃一, 松本春信, 山口敦司, 安達秀雄. Stanford B型急性大動脈解離破裂に対する手術症例の検討. 第41回日本血管外科学会学術総会 2013.5.29-31 大阪国際会議場
  - 12) 安達晃一, 山口敦司, 由利康一, 松本春信, 木村知恵里, 田村 敦, 長野博司, 堀 大治郎, 野中崇央, 安達秀雄. プレジェクト付縫合糸による全周結節吻合+連続縫合補強法の大動脈吻合. 第41

回日本血管外科学会学術総会 2013.5.29-31 大阪国際会議場

- 13) 野中崇央, 松本春信, 田村 敦, 長野博司, 木村知恵里, 由利康一, 安達晃一, 山口敦司, 安達秀雄. 右鎖骨下動脈ステント留置後仮性瘤に自家静脈を用い右鎖骨下腋窩動脈バイパス術を施行した一例. 第41回日本血管外科学会学術総会 2013.5.29-31 大阪国際会議場
- 14) 野村陽平, 由利康一, 堀 大治郎, 長野博司, 吉崎隆道, 山口敦司, 安達秀雄. 当院におけるEndurant Stent Graft Systemのtype4 endoleakに関する20症例の検討. 第41回日本血管外科学会学術総会 2013.5.29-31 大阪国際会議場
- 15) 田島 泰, 内藤和寛, 陣内真理子, 中田弘子, 山口敦司, 安達秀雄. MICSで上行大動脈置換術後および大動脈弁置換術を施行した2治療例. 第41回日本血管外科学会学術総会 2013.5.29-31 大阪国際会議場
- 16) 橋本和憲, 田中正史, 片山郁雄, 野口権一郎, 伊藤 智, 嶋田直洋, 湯地大輔, 大城規和, 白水御代. 広範囲胸部大動脈瘤に対して一期的上行一弓部一下行大動脈人工血管置換術を施行した5症例. 第41回日本血管外科学会学術総会 2013.5.29-31 大阪国際会議場
- 17) 白杉岳洋, 森田英幹, 木村直行, 松本春信, 安達晃一, 由利康一, 山口敦司, 安達秀雄. 人工膝関節置換術後の右膝窩動脈解離に対して浅大腿動脈一腓骨動脈バイパス術を行った1例. 第41回日本血管外科学会学術総会 2013.5.29-31 大阪国際会議場
- 18) 佐藤健一郎, 小日向聡行, 吉田卓義. 孤立性上腸間膜動脈解離2例の検討. 第41回日本血管外科学会学術総会 2013.5.29-31 大阪国際会議場
- 19) 中野光規, 堀 大治郎, 田村 敦, 木村知恵里, 松本春信, 由利康一, 安達晃一, 山口敦司, 安達秀雄. 炎症性腹部大動脈瘤に対してEVARを施行した症例の検討. 第41回日本血管外科学会学術総会 2013.5.29-31 大阪国際会議場
- 20) 西 智史, 松本春信, 堀 大治郎, 田村 敦, 木村知恵里, 由利康一, 安達晃一, 山口敦司, 安達秀雄. 広範な動脈閉塞を認めるCLIに対し右大腿動脈一左後脛骨動脈クロスオーバーバイパスを施行した1例. 第41回日本血管外科学会学術総会 2013.5.29-31 大阪国際会議場
- 21) 小日向聡行, 木村直行, 佐藤健一郎, 田村敦, 木村知恵里, 安達晃一, 由利康一, 松本春信, 山口敦司, 安達秀雄. スポーツ中に発症したStanford A型急性大動脈解離の検討. 第41回日本

血管外科学会学術総会 2013.5.29-31 大阪国際会議場

以下の学会発表論文:「2012年研究だより」に未掲載論文です。

- 22) Kimura, N. Kawahito, K. Tanaka, M. Ito S. Adachi, K. Yuri, K. Yamaguchi, A. and Adachi, H. High surgery volume improves the treatment outcomes of acute type A aortic dissection? American Association for Thoracic Surgery, Aortic Symposium 2012. April.26-27, 2012. New York city, NY, USA.
- 23) Sasabuchi, Y. Kimura, N. Ohnuma, T. Shiotsuka, J. Asaka, K. Adachi, K. Yuri, K. Matsumoto, H. Yamaguchi, A. Lefor, A. Sanui, M. and Adachi, H. Acute kidney injury increases morbidity and mortality after surgery for acute type A aortic dissection. American Heart Association Scientific Sessions 2013, November 3-7, 2012, Las Angeles, CA, USA

#### ☆その他

- 1) 由利康一: 胸部ステントグラフトの使用法と適応症例;「ゴアTAG+Bolton Relay」. 第9回彩の国Endovascular Surgery研究会 2013.5.10 ソニックシティ大宮

## ■ 脳神経外科

### (1) 論文

- 1) Kamochi H, Kusaka G, Ishikawa M, Ishikawa S, Tanaka Y: Late onset cerebrospinal fluid leakage associated with past head injury -two case report-. Neurologia medico-chirurgica 53(4): 217-220, 2013

### (2) 学会発表

- 1) 石川眞実, 太田康, 加持春菜, 伊古田雅史, 山黒友丘, 海老原彰, 草鹿元, 田中裕一: 内視鏡エコーの脳神経外科手術への応用. 第22回日本脳神経外科手術と機器学会 2013,4/12-13 松本
- 2) 石川眞実, 太田康, 加持春菜, 伊古田雅史, 山黒友丘, 海老原彰, 草鹿元, 田中裕一: 無線動画伝送録画システムの手術医療画像への応用. 第88回日本医療機器学会 2013,6/6-8 横浜
- 3) 石川眞実, 釜井陽子, 伊古田雅史, 山黒友丘, 加持春菜, 海老原彰, 草鹿元, 田中裕一: 脳循環予備能の低下と高次脳機能障害との関連性. 第22回

日本脳ドック学会 2013,6/21-22 仙台

- 4) 石川眞実, 市村真也, 各務宏, 稲葉真, 伊古田雅史, 山黒友丘, 加持春菜, 海老原彰, 草鹿元, 田中裕一: 三叉神経鞘腫に対する電気生理モニター下subdural subtemporal direct approach. 第25回日本頭蓋底外科学会 2013,6/26-27 横浜
- 5) 石川眞実, 太田康, 市村真也, 各務宏, 稲葉真, 加持春菜, 海老原彰, 草鹿元, 田中裕一: 外眼筋モニター、内視鏡エコーを用いた頭蓋底手術. 第25回日本頭蓋底外科学会 2013,6/26-27 横浜
- 6) 市村真也, 石川眞実, 中條政直, 菊地亮吾, 原晃一, 各務宏, 稲葉真: 当院における前庭神経鞘腫に対する術中随意刺激および持続刺激顔面神経モニターの使用経験. 第25回日本頭蓋底外科学会 2013,6/26-27 横浜
- 7) 伊古田雅史, 大澤祥, 山黒友丘, 加持春菜, 海老原彰, 草鹿元, 石川眞実, 田中裕一: 胸腰椎移行部硬膜外に発生したAngiolipomaの一例. 第28回日本脊髄外科学会 2013,6/6-7 名古屋
- 8) 加持春菜, 伊古田雅史, 山黒友丘, 海老原彰, 草鹿元, 石川眞実, 田中裕一, 難波克成: 巨大外傷性内頸動脈海綿静脈洞瘻の1例. 第120回日本脳神経外科学会関東地方会 2013,4/20 東京
- 9) 山黒友丘, 草鹿元, 大澤祥, 藤原洋平, 伊古田雅史, 加持春菜, 海老原彰, 石川眞実, 庄田基, 田中裕一: 頸椎前方固定用ハイブリッドケージの使用経験と短期術後成績の検討. 第28回日本脊髄外科学会 2013,6/6-7 名古屋
- 10) 山黒友丘, 草鹿元, 伊古田雅史, 加持春菜, 海老原彰, 石川眞実, 田中裕一: 診断に苦慮した左大脳半球の巨大嚢胞性病変. 第45回埼玉脳腫瘍病理懇話会 2013,6/12 さいたま

### (3) その他の発表

- 1) 田中裕一: 脳血管障害の診断・治療・全身管理のポイント. 看護セミナー, 2013,3/10

## ■ 整形外科

### <原著論文>

- 1) Akiyama T, Chikuda H, Yasunaga H, Horiguchi H, Fushimi K, Saita K: Incidence and risk factors for mortality of vertebral osteomyelitis: a retrospective analysis using the Japanese diagnosis procedure combination database. BMJ Open. 2013 Mar 25; 3 (3). e002412

### <学会発表>

- 1) 遠藤実、内田光夫、神田翔太郎、秋山達、税田和夫: 抗血小板・抗凝固薬内服と術後血腫についての検討. 第42回日本脊椎脊髄病学会、2013.4.25-27、宜野湾
- 2) 税田和夫、秋山達、筑田博隆: 感染性脊椎炎は急増している - DPCデータベースを用いた研究 -. 第42回日本脊椎脊髄病学会、2013.4.25-27、宜野湾
- 3) 税田和夫、遠藤実、神田翔太郎、穴水依人: 骨粗鬆症性椎体偽関節の手術適応と術式選択. 第42回日本脊椎脊髄病学会、2013.4.25-27、宜野湾
- 4) 税田和夫、秋山達、筑田博隆、康永秀生: 感染性脊椎炎の頻度と在院死亡の要因 - DPCデータベースを用いた研究 -. 第86回日本整形外科学会、2013.5.23-26、広島

### <著書 総説>

- 1) 税田和夫: Section4椎間板 - 終板 脳・脊椎病変の画像診断. 青木茂樹、星地亜都司、斉藤延人監訳、南江堂、II 4-2-II 4-17、2013

## ■ 泌尿器科

### 学会、講演、研究会、セミナー 発表

- 1) 平井 勝、齊藤公俊、松崎 敦、小林 裕、野首光弘: 膀胱内に発生したAggressive angiomyxoma 第63回日本泌尿器科学会埼玉地方会 さいたま市 2013年2月23日
- 2) 小林 裕: (講演) ここが知りたい? 話題の前立腺がん治療 前立腺癌市民公開講座 さいたま市 2013年3月30日
- 3) 松崎 敦: デュタステリド内服によるPSA値の変化 - 初診時PSA値別の検討 - 埼玉栃木泌尿器疾患セミナー さいたま市2013年5月17日
- 4) 齊藤公俊: 膀胱全摘後に腹腔ない膿瘍を発症し敗血症性ショックをきたした症例 埼玉栃木泌尿器疾患セミナー さいたま市2013年5月17日
- 5) 小西 鼓、平井 勝、齊藤公俊、松崎 敦、小林 裕: 腎細胞癌術後多発肺転移に対し、sorafenib投与中に胃転移を認めた1例 第64回日本泌尿器科学会埼玉地方会 さいたま市 2013年6月1日
- 6) 小林 裕 (講演): 前立腺肥大症の診断と治療 - 専門医の立場から - 浦和地区プライマリー医のためのBPH勉強会 さいたま市 2013年4月5日

原著

- 1) 齊藤公俊、鷺野 聡、平井 勝、松崎 敦、野首光弘、寺井千尋、小林 裕：異時性に両側精巣上体に発症した限局型結節性多発動脈炎の1例 日泌尿会誌 (0021-5287) 104巻1号 Page22-25 (2013.01)

■ 耳鼻咽喉科

<原著論文>

- 1) 原 真理子、新鍋晶浩、金沢弘美、吉田尚弘、飯野ゆき子：小児慢性穿孔性中耳炎手術施行症例の臨床的検討. Otol Jpn 23 (2) : 85-91, 2013.

<学会発表>

- 1) Yoshida, N. : Reversible Cochlear Function with ANCA-associated Vasculitis Initially Diagnosed by Otologic Symptoms. COSM 2013 Poster Sessions (2-077), Orlando, April 10-14, 2013, pp33.
- 2) 飯野ゆき子：シンポジウム11-3「好酸球性中耳炎の発症のメカニズムと治療. 第25回日本アレルギー学会春季臨床大会, 横浜, 2013年5月11-12日, 抄録p284.
- 3) 飯野ゆき子、長谷川雅世、原 真理子、松澤真吾、新鍋晶浩、金沢弘美、吉田尚弘：先天性真珠腫が疑われた2症例. 第114回日本耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会, 2013年5月16-18日, 116 (4) 予稿集p407, 札幌.
- 4) 吉田尚弘、原 真理子、長谷川雅世、松澤真吾、新鍋晶浩、金沢弘美、飯野ゆき子：難治性中耳・側頭骨炎症性病変の3症例. 第114回日本耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会, 2013年5月16-18日, 116 (4) 予稿集p419, 札幌.
- 5) 新鍋晶浩、松澤真吾、原 真理子、長谷川雅世、金沢弘美、吉田尚弘、飯野ゆき子：真珠腫性中耳炎における顔面神経露出症例の検討. 第114回日本耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会, 2013年5月16-18日, 116 (4) 予稿集p460, 札幌.
- 6) 原 真理子、飯野ゆき子、吉田尚弘、金沢弘美、新鍋晶浩、長谷川雅世、松澤真吾：当科において入院加療を行った好酸球性中耳炎症例. 第114回日本耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会, 2013年5月16-18日, 116 (4) 予稿集p507, 札幌.
- 7) Iino, Y. : Watchful Waiting vs. Surgical Intervention for Pediatric Cholesteatoma. 20th IFOS World Congress, June1-5, 2013, Seoul, pp68.

<著書・総説>

- 1) 吉田尚弘：特集「図でみる免疫学のABC」IgG4関連疾患. JOHNS29 (3) : 541-546, 2013.
- 2) 吉田尚弘、飯野ゆき子：II. 専門医の管理・治療が必要な疾患のガイドラインー感覚器疾患ー31難聴. 日経メディカル開発, 今日の診療のためのガイドライン外来診療 2013年版, 542-545.
- 3) 星野志織、飯野ゆき子：特集・耳鼻咽喉科における乳幼児診療 Q&A, Q4 滲出性中耳炎や反復性中耳炎のち両方を教えて下さい①滲出性中耳炎, MB ENT, 152 : 22-24, 2013年4月増大号.
- 4) 星野志織、飯野ゆき子：特集・耳鼻咽喉科における乳幼児診療 Q&A, Q4 滲出性中耳炎や反復性中耳炎のち両方を教えて下さい②反復性中耳炎, MB ENT, 152 : 25-29, 2013年4月増大号.
- 5) 新鍋晶浩：特集・痛みの性状からわかる耳鼻咽喉科疾患. II. 各論 2. 舌痛症. MB ENT, 153 : 52-55, 2013.

<その他>

- 1) 飯野ゆき子：特集「図でみる免疫学のABC」序ー免疫学を学ぼう. JOHNS 29 (3) : 281, 2013.
- 2) 吉田尚弘：特別講演「耳鼻咽喉科領域の疾患と画像診断」第24回メディカルスキニング・イメージング研究会, 2013年5月23日, 大宮ソニックシティビル.

■ 眼科

A) 論文

- 1) Shimmura-Tomita, M. Wang, M. Taniguchi, H. Akiba, H. Yagita, H. and Hori, J. : Galectin-9-mediated protection from allo-specific T cells as a mechanism of immune privilege of corneal allografts. PLOS ONE Vol.8 No.5, 2013.5.7

B) 海外学会一般講演

- 1) Shimmura-Tomita, M. Takano, H. Kinoshita, N. Toyoda, F. Ota, A. and Kakehashi, A. : Risk Factors of Severe Acanthamoeba Keratitis. 2013 Annual Meeting of ARVO, Seattle, 2013.5.9

C) 著書

- 1) 榛村真智子：アトピー性皮膚炎合併症例の角膜移植. NANO OPHTHALMOLOGY No.43 : 15-17, 2013.

## ■ 産婦人科

### 学会発表

- 1) Konno, R. Building National Capacity for Cervical Cancer Prevention. AOGIN Interim Meeting 2013, Kunming China, April 26-28, 2013.

### 著書、総説

- 1) 今野 良. 子宮頸がん予防ヒトパピローマウイルス (HPV) ワクチンについて. ファルマシア, 49 (3) : 217-222, 2013.
- 2) 今野 良 (編). 日常診療に役立つ産婦人科のプライマリケア. 2013. 医療文化社

### その他

- 1) 今野 良. 【特別講演】子宮頸がん予防ワクチンのホントの話～エビデンスは日本での予防効果～. 世田谷区医師会学術講演会, 東京, 2013年3月6日.
- 2) 今野 良. 子宮頸がん検診の現状と今後の方向性について. 豊島区医師会講演会, 東京, 2013年3月14日.
- 3) 今野 良. 【特別講演】子宮頸がん征圧の取り組み～日本から発信できること～. 千葉県小児科医学会総会, 千葉, 2013年4月6日.

## ■ 皮膚科

### 【学会発表】

- 1) 飯田絵理, 渡邊萌理, 塚原理恵子, 中村考伸, 梅本尚可, 中村哲史, 山田朋子, 出光俊郎: 足底角層内において毛髪の移動を認めた小児例—毛髪角層内潜行症(仮称) 第112回日本皮膚科学会総会, 横浜市, 2013年6月15日, 2013年.
- 2) 中村哲史: 顔面の環状紅斑 埼玉県一枚会, 2013年5月12日、さいたま市
- 3) 中村哲史: 右肩甲下部発生した限局性リンパ管腫の1例、第112回日本皮膚科学会総会学術大会 2013年6月15日 横浜市

### 【講演】

- 1) 中村哲史: アトピー性皮膚炎について 2013年自治医大公開講座 さいたま市 2013年6月16日

### 【論文】

- 1) インスリンデテミルによる皮下硬結(自治医大埼玉医療センター)、visual dermatology, 5月号 p549 中村哲史, 梅本尚可

- 2) 急性感染性蕁麻疹7例の検討(原著論文) 橋本喜夫(旭川厚生病院 皮膚科), 西 薫, 中村哲史, 水元俊裕: 皮膚科の臨床(0018-1404) 55巻3号 Page343-347 (2013.03)
- 3) 指趾粘液嚢腫に対するプロナーゼ錠内服と凍結療法の併用効果(原著論文) 橋本喜夫(旭川厚生病院 皮膚科), 西 薫, 中村哲史, 水元俊裕: 皮膚科の臨床(0018-1404) 55巻1号 Page67-71 (2013.01)
- 4) Paraneoplastic pemphigus mimicking toxic epidermal necrolysis associated with B-cell lymphoma. J Dermatol. 2013 Apr; 40 (4) : 286-8. Yamada T, Nakamura S, Demitsu T, Nakamura T, Iida E, Yoneda K, Fukuda S, Hashimoto T. Department of Dermatology, Jichi Medical University Saitama Medical Center, Saitama, Japan.
- 5) ダーモスコピーで良性病変を示唆し、病理組織でメラノーマとの鑑別に苦慮した足底の非定型的色素性母斑(pseudomelanoma)の1例(原著論文) 中村考伸(自治医科大学附属さいたま医療センター 皮膚科), 出光俊郎, 塚原理恵子, 小山尚俊, 中村哲史, 飯田絵理, 正木真澄, 梅本尚可, 加倉井真樹, 山田朋子, 堂本隆志, 中川秀己, 伊東慶悟: Skin Cancer (0915-3535) 27巻3号 Page350-354 (2013.02)

## ■ 麻酔科

### 学会発表

- 1) 唐崎元一郎, 青山泰樹, 千葉英美子, 大塚祐史, 村山隆紀: ステントグラフト内挿術の麻酔覚醒時間に影響する因子. 日本麻酔科学会第60回学術集会, 札幌, 2013年5月23日-25日
- 2) 深津健, 青山泰樹, 大塚祐史, 村山隆紀: 体外循環下における肺動脈カテーテルの進達に関する検討. 日本麻酔科学会第60回学術集会, 札幌, 2013年5月23日-25日
- 3) 青山泰樹, 大塚祐史, 浅香佳代, 深津健, 千葉英美子, 村山隆紀: 麻酔科研修医の気管挿管教育におけるMcGRATH MACの有用性. 日本麻酔科学会第60回学術集会, 札幌, 2013年5月23日-25日

## ■ 歯科口腔外科

### 学会発表

- 1) 下顎再建に用いた血管柄付き遊離腸骨移植片の経時的変化に関する検討 野口忠秀, 土屋欣之, 大

谷津幸生、早坂純一、中山竜司、篠崎泰久、伊藤弘人、神部芳則、小佐野仁志、去川俊二、草間幹夫：第62回NPO法人口腔科学学会学術総会、宇都宮、(2013年5月23日)

- 2) 右頬部に生じた結節性筋膜炎の1例 宗正和、神部芳則、井岡友梨、土屋欣之、伊藤弘人、野口忠秀、草間幹夫：第62回NPO法人口腔科学学会学術総会(2013年5月23日)
- 3) 当科における角化嚢胞性菌原性腫瘍に関する臨床的検討 中井雄一郎、小佐野仁志、林宏栄、井岡友梨、岡本瑠珠、草間幹夫：第62回NPO法人口腔科学学会学術総会、宇都宮、(2013年5月24日)
- 4) 著明な上下顎外骨症の1例 林宏栄、神部芳則、大谷津幸生、早坂純一、伊藤弘人、野口忠秀、草間幹夫、山口岳彦：当科における口腔扁平上皮癌術後ハイリスク患者に対する放射線治療効果の検討—放射線治療単独での検討— 土屋欣之、野口忠秀、渡辺秀紀、宮城徳人、大谷津幸生、岡田成生、中山竜司、早坂純一、篠崎泰久、伊藤弘人、松本浩一、小佐野仁志、神部芳則、草間幹夫 第37回日本頭頸部癌学会、東京、(2013年6月13, 14日)
- 5) 当科における口腔扁平上皮癌症例の原発巣SUVmax値と病期ならびに予後に関する検討 小澤通子、野口忠秀、土屋欣之、渡辺秀紀、土肥昭博、宗正憲和、岡田成生、中山竜司、大谷津幸生、早坂純一、篠崎泰久、伊藤弘人、小佐野仁志、神部芳則、草間幹夫：第37回日本頭頸部癌学会、東京、(2013年6月13, 14日)
- 6) 当科における口腔扁平上皮癌における肩甲舌骨筋上頸部郭清の検討 宗正憲和、野口忠秀、土屋欣之、小澤通子、渡辺秀紀、土肥昭博、早坂純一、篠崎泰久、伊藤弘人、小佐野仁志、神部芳則、草間幹夫：第37回日本頭頸部癌学会、東京、(2013年6月13, 14日)
- 7) 上下顎歯肉に著明に腫瘍浸潤を認め口腔ケアに難渋した悪性リンパ腫の1例 藤田亜希子、鈴木美佳、山内萌、成澤早紀、井岡友梨、中井雄一郎、小佐野仁志、草間幹夫：第10回日本口腔ケア学会総会・学術大会、福岡、(2013年6月22, 23日)

#### シンポジウム

- 1) 造血細胞移植患者の口腔ケアガイドラインを完成するにあたって 小佐野仁志：第10回日本口腔ケア学会総会・学術大会、福岡、(2013年6月22, 23日)

#### 講演会

- 1) 糖尿病と歯周病 小佐野仁志：第89回大宮糖尿病研究会(2013年6月3日)

## 編集後記

今回の発行に際しては、4月から循環器病臨床医学研究所長に就任いたしました加計副センター長に巻頭言をお願いいたしました。その中で「臨床と研究」の貴重な話をいただき、センターの研究の意識をさらに高めて頂きたいと思います。また、多くの先生方から投稿頂き、ご協力ありがとうございました。研究だよりを通して、センターの研究等の状況を発信していきたいと思います。

この季節、鬱陶しい梅雨の最中で、湿気とカビが繁殖する時期です。かつて、フレミングは、アオカビから精製してペニシリンを発見し、1929年に英国の専門誌にペニシリンの論文を発表し、世界初の抗生物質を見出しました。また、テレビドラマの「仁」の中で、江戸時代にアオカビから精製してペニシリンを作り患者様の医療に貢献したという話を放映していました。設備のない中でよく精製できたと感心させられました。

皆様に置かれましては、このような時期に体調管理にはくれぐれも留意してください。

(T)

### 自治医科大学附属さいたま医療センター 研究だより 第36号

発行日 平成25年7月19日  
 発行 自治医科大学附属さいたま医療センター  
 発行責任者 センター長 百村 伸一  
 編集 事務部 総務課  
 BSL 宿舎・研修施設事務室  
 〒330-8503 埼玉県さいたま市大宮区天沼町1-847  
 TEL. 048-647-2111  
 FAX. 048-648-5166  
 題字 百村 伸一 センター長

印刷 第一印刷(株)